



2023年7月24日

各 位

会 社 名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 萩 尾 陽 平  
(コード番号 : 2588 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経 営 管 理 本 部 広 報 I R 部  
電 話 (TEL. 03-6864-0980)

## 投資家・アナリストの皆様よりいただいた ご質問及び回答内容公開のお知らせ

株式会社プレミアムウォーターホールディングスは、2023年6月17日(土)、2023年7月8日(土)に個人投資家向けIRセミナーに登壇いたしました。セミナー当日も多くの投資家の方よりご質問を頂戴しました。

また、日頃より、当社IR活動に関連して、お電話やメールにて個別にお問合せをいただくことがございます。いただいたご質問に対しては、可能な限り速やかに回答させていただいておりますが、投資家の皆様への情報発信強化及びフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問と回答につきまして、次頁に記載のとおり、公表させていただきます。

なお、回答内容につきましては、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がございますが、直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

### 【ご参考資料】

2023年5月16日(火)開催 2023年3月期 決算説明会

書き起こし記事：<https://finance.logmi.jp/378049>

アーカイブ動画：[https://youtu.be/Rnom6\\_L99Uo](https://youtu.be/Rnom6_L99Uo)

説明会資料：[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/m005-m005\\_02/20230516\\_kessan.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/m005-m005_02/20230516_kessan.pdf)

2023年6月17日(土)登壇 個人投資家向けIRセミナー(ログミーFinance主催)

書き起こし記事：<https://finance.logmi.jp/378237>

アーカイブ動画：<https://www.youtube.com/live/iKjKehLMWV8?feature=share&t=6660>

※当社の登壇は1:51:00～

説明会資料：[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/m005-m005\\_04/20230617.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/m005-m005_04/20230617.pdf)

---

<本件に関する問い合わせ先>

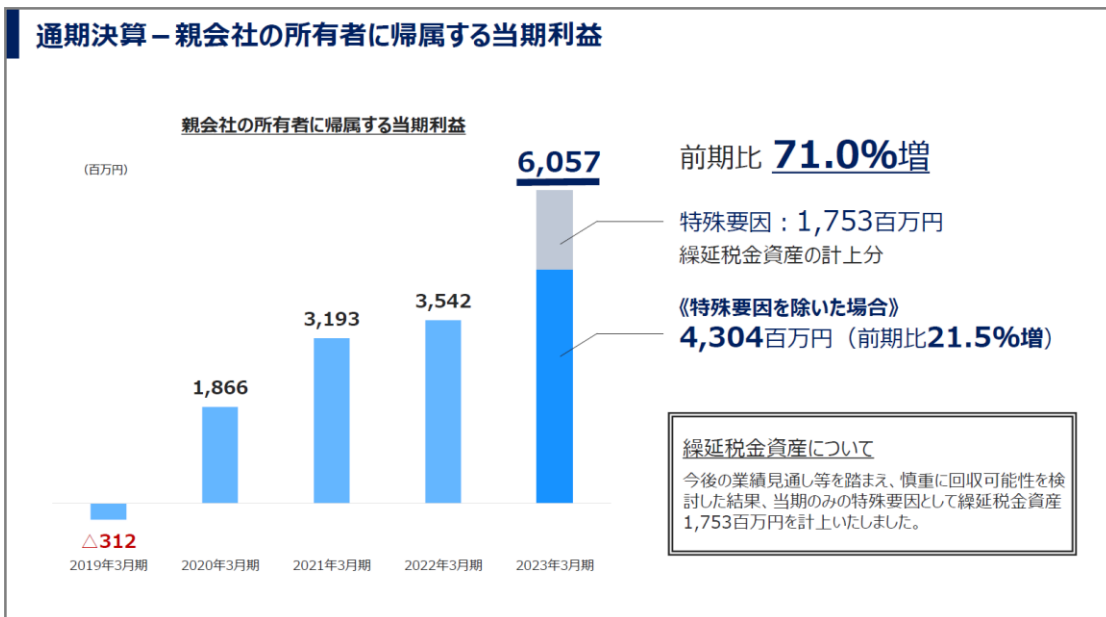
株式会社プレミアムウォーターホールディングス  
経営管理本部 広報IR部 Tel: 03-6864-0980  
(受付時間: 平日 午前10時から午後7時まで)

## 質問 1

2023年の当期利益は上期よりも下期の利益が多めでしたが要因はありますか？  
また、この傾向は2024年にも続きますか？

## 回答 1

2023年3月期のみの特殊要因であり、2024年3月期以降に対する  
継続的な影響はありません。



2023年3月期において、親会社の所有者に帰属する当期利益は6,057百万円となっております。これは、繰延税金資産の回収可能性に対して慎重に検討した結果、当期のみの特殊要因として繰延税金資産1,753百万円を計上したためです。特殊要因を除いた場合の当期利益は4,304百万円であります。なお、今回の特殊要因が今後の業績に継続的に影響することはありません。

また、今期は親会社の所有者に帰属する当期利益を4,800百万円と予想しておりますが、2023年3月期の特殊要因を除いた実績値（4,304百万円）からは11.5%増となります。

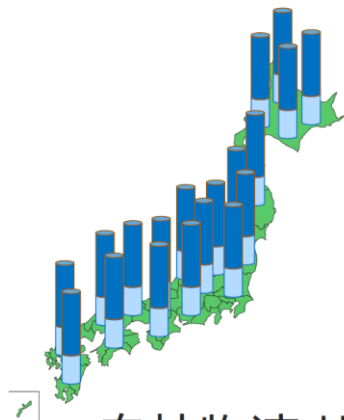
## 質問 2

物流の2024年問題について、宅配水業界及びPWHDへの影響についてどのようにお考えでしょうか？

## 回答 2

宅配水業界及び当社への影響はあると考えており、そのうえで必要な施策を講じてまいります。

### 当社の強み－自社物流網の構築



エリアでの純増、定期配送  
十分な物量により

**配送を効率化**

**物流費の抑制**

自社物流※比率 **約49%**まで向上

※全国に物流網を持っている大手配送業者以外の配送パートナー

2024年問題は基本的にすべてのEC会社に影響があると考えており、当社がこれまでに講じてきた対策としては自社物流網の構築が挙げられます。自社物流網は全国に物流網を持っている大手配送業者以外の配送パートナーとの取引のことを指し、当社は2019年よりこの自社物流網の構築を徐々に進め、現在では約49%までに比率が向上しました。

今後は、本施策による配送コストの抑制に加え、配送コストを含めたコスト全体に対する管理を適切に行い、コストの最適化に努めてまいります。

## 質問 3

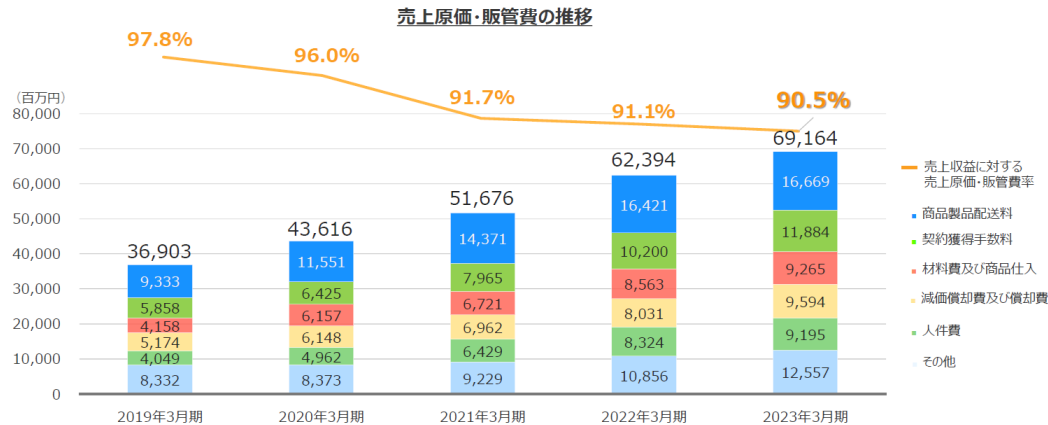
資材高騰の影響を抑えられている理由、その努力等を教えてください。

## 回答 3

工場の稼働率向上等により、コスト全体でしっかりと吸収できているためです。

### 当社の強み - 販管費率の低減

顧客数が増えたエリアに水源を開拓し、自社物流網による配送効率化を図ることで、売上収益に対する**売上原価・販管費率は90.5%にまで低減**



当社の2019年3月期の売上原価・販管費率は97.8%でしたが、各種取組みを行った結果、2023年3月期では90.5%と、資材高騰への対応が課題とされるなかでも、売上原価・販管費の効率化を達成しております。

特に、保有顧客の増加に伴う、工場の稼働率向上による製造の効率化と配送の効率化が売上原価・販管費率の改善に大きく寄与しました。

今後も当社では、製造コストや配送コスト等を適正に管理するとともに、全体的なコストの最適化に努めてまいります。

## 質問 4

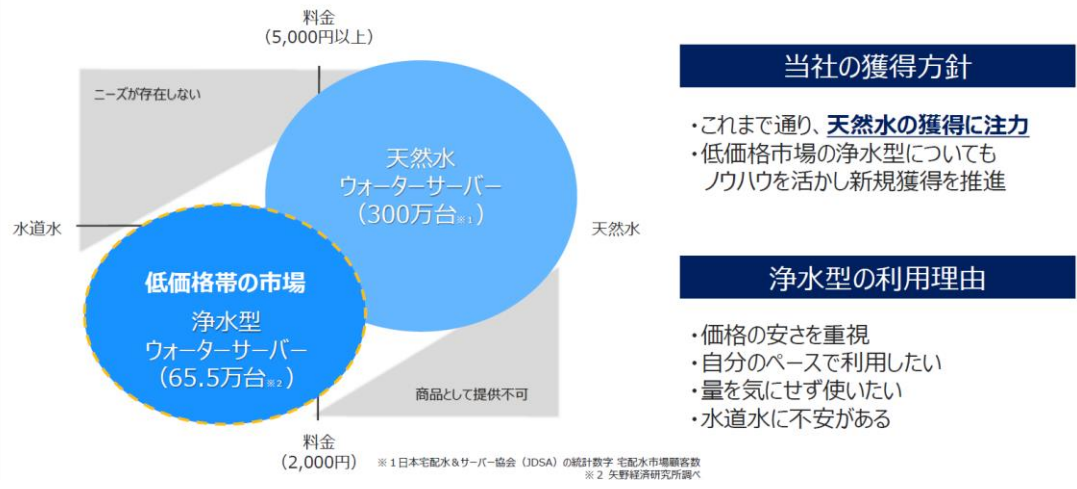
浄水型ウォーターサーバーの競争環境と優位性等について教えてください。

## 回答 4

浄水型は価格の安さが最重要視されているものと認識しております。

### 販売力強化－天然水ウォーターサーバーと浄水型ウォーターサーバー

「好調な天然水」に加え、「低価格帯の浄水型」の導入により、**更なる保有顧客数の拡大を狙う**



天然水と浄水型のウォーターサーバーはターゲット層が全く異なりますが、いずれも普及率はさほど高くないため、当社の強みのひとつである営業力が重要であると考えております。

また、浄水型の市場においては、各社のフィルタに大きな差はなく、価格の安さが最も重視されていると認識しております。当社はメイン事業である天然水事業においてコストの最適化を図っており、それにより浄水型を業界最安値で提供できております。今後、価格競争になることが考えられますが、当社は引き続き優位性が保てるものと考えております。

## 質問 5

浄水型ウォーターサーバーを2022年11月にリリースされていますが、既存の天然水のウォーターサーバーと利益率の差はありますか？

## 回答 5

大きな差はありませんが、当社は日本の天然水の価値をより多くの方々に知っていただくべく、天然水のご提案に注力してまいります。

### 販売力強化－新型浄水型ウォーターサーバー「Slim-R」

2022年11月24日 浄水型ウォーターサーバー「Slim-R」をリリース



	当社	A社	B社
月額料金 (税込)	2,680円	3,300円	3,300円
PW家族割 (税込)	2,480円	無し	無し

当社のみ

- ▶ 低価格ニーズに応える料金・サービス設計
- ▶ 他社リプレイス対策
- ▶ 法人顧客の新たな取り込み

当社は2022年11月に新型の浄水型ウォーターサーバー「Slim-R」をリリースしており、月額税込2,680円（PW家族割で税込2,480円）にて、サービスを開始しております。それに対し、天然水は税込3,974円（※3年契約の場合）で12ℓ×2本をご自宅までお届けしております。

顧客単価は浄水型よりも天然水の方が高くなりますが、お客様ご自身で給水していただく浄水型と比べ、天然水には製造や配送のコストもかかるため、利益率の面では大きな差はありません。

但し、当社は、天然水とその価値を広めるということに注力しております。今後も長い年月を経て自然にろ過され、ミネラル成分をたっぷり含んだ、安心安全で高品質な天然水「プレミアムウォーター」をより多くの方々にお届けしてまいります。

## 質問 6

次の水源計画は準備されていますか？  
しばらくは足りているのでしょうか？

## 回答 6

十分な水源を確保しておりますが、今後も適宜検討を続ける方針です。

### 当社の強み - 岐阜北方工場（2期工事完了後の影響）



岐阜県 北方工場（2022年2月より稼働開始）

生産能力：**250万本以上/月**

総投資額：91億円（予定）

- ▶日本の中央に位置する岐阜県は、**生産および物流として非常に重要な拠点**である
- ▶顧客の純増を背景に高い稼働率での運用が可能のため、**製造原価に対して大きなメリット**がある

2022年2月より稼働を開始した岐阜北方工場ですが、現在は第2期工事を行っており、2024年3月期中には完成する予定です。岐阜北方工場の完成後の生産能力は月産250万本以上となり、全工場を合わせると約250万件のユーザーに対応可能な体制が整います。

現在の当社の保有顧客数は2023年3月末時点で154万件ですので、今後数年間は岐阜北方工場を含めた既存の工場だけで賄うことができる見込みですが、各工場稼働率の管理を行い、適切な供給体制を確保できるよう、引き続き検討を行ってまいります。

## 質問 7

天然水の資源としての長期的な持続性について教えてください。  
枯渇のリスクや、自然現象（地震や噴火等）から受け得る影響を知りたいです。

## 回答 7

水位や水質の管理を行い、生産拠点を複数保有する等  
様々なリスクに対応できるよう、努めております。

当社グループの水源については、各水源において地下水の水量についての調査を行っております。例えば富士吉田の水源の場合、60年以上前に富士山に降雨した水が浸透し、ろ過されて地下水となって採取されていると推定されており、過去60年間に於いて富士山の降水状況は安定的であること等から、長期にわたり安定的に推移するものと当社は想定しております。そのうえで、水位の計測を継続的に行っており、安定的に天然水が供給できるよう管理を行っております。水位だけでなく、水質についても毎日定期的に検査を行っており、お客様に安全安心で高品質な天然水をお届けできるよう、品質についても徹底して管理を行っております。

また、水が豊かな日本は地震や台風等の自然災害も多く発生しますが、当社は全国各地に水源があり、当社の水源を含む地域で自然災害が発生した場合でも、他の水源からの供給を行う等、カバーできる体制を構築しております。



## 質問 8

海外展開についてはどのようにお考えでしょうか？

## 回答 8

海外への展開も構想はございますが、  
まずは日本国内での普及に注力いたします。



海外には時価総額が8～9兆円の飲料水を扱う企業もあり、飲料水事業は世界的にも注目が集まっています。また、世界で水道水が飲める国は約4%とされており、日本は水道水が飲める数少ない国のひとつです。そのため、海外市場の方が当然規模も大きく、海外への展開も構想はしております。

しかし、現在の日本国内のウォーターサーバーの普及率は8%程度と国内市場も成長の余地があることから、まずは日本国内での普及率及び当社のシェア（国内売上シェア36.2%）の向上に注力する所存です。

## 質問 9

上場維持基準をまだ満たしていないようですが、上場維持する予定でしょうか？  
どのような施策を今後行う予定でしょうか？

## 回答 9

上場は維持する方針です。

当社は上場維持基準への適合状況において、東証スタンダード市場における流通株式比率（25%以上）の基準を満たしておりません。現在、2027年3月末日までを期限として、この上場維持基準を充たすための取組みを進めており、親会社を含めた継続的な協議や株価向上に向けた情報発信の強化等を行っております。

詳細は「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に現在の当社の適合状況と具体的な施策、これまでの取組みの進捗について記載しておりますので、ご確認ください。

2023年6月30日開示「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」

[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/tdnrelease/2588\\_20230629514818\\_P01 .pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/tdnrelease/2588_20230629514818_P01.pdf)

## 質問 10

株主優待はいつ頃届きますか？

## 回答 10

9月上旬から9月末までに順次お届けいたします。



### プレミアムウォーターホールディングス株主優待のご案内

プレミアムウォーターホールディングスの株主優待では、100株以上保有の株主様に、子会社のプレミアムウォーター株式会社が運営するご契約者様限定通販サイト「PREMIUM MALL」より、おすすめ商品を集めた「株主優待品カタログ」をお送りいたします。  
お好きな1品お選びいただき、同封のハガキまたはWEBサイトよりお申込みください。

また、同じくプレミアムウォーター株式会社の取り扱う宅配水サービスのご契約者である株主様には、上記の株主優待品に加え「ナチュラルミネラルウォーター 1セット(2本)」も無償でお届けいたします。

#### 【お届け時期】

2023年9月1日から9月末までに順次お送りいたします。  
配送状況により到着時期に遅れが生じる場合がございます。  
優待品①と②は別配送となります。

#### 【お申込み期限】

2023年  
7月31日(月) 必着

#### 【お申込み方法】

同封のハガキまたはWEBサイトよりお申込みいただけます。  
お申込み方法の詳細は、P13-14をご参照ください。

2023年3月期分につきましては、2023年9月上旬から9月末までにお届けさせていただく予定でございます。

なお、お申込みいただいた商品により発送日は異なります。

お申込み期限は2023年7月31日(月)ですので、お申込みがお済みでない株主様はWEBもしくはお送りした返送用ハガキにて、お早目にお手続きください。

2023年3月期 株主優待カタログ

[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/m006-m006\\_05/catalog\\_2023.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/m006-m006_05/catalog_2023.pdf)

2023年3月期 株主優待 WEBお申込みフォーム

<https://sh.premium-water.net/benefits/Login>